

2022年 11月 10日

## リクルート、セクシュアル・マイノリティに関する取り組み指標 「PRIDE 指標 2022」で最高評価のゴールドを5年連続取得

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘、以下リクルート）は、任意団体 work with Pride(ワーク・ウィズ・プライド、以下 wwP)が策定した、企業や団体のLGBTQなどのセクシュアル・マイノリティに関する取り組みを評価する指標「PRIDE 指標 2022」において、最高評価であるゴールドを5年連続で取得しました。

### ■ PRIDE 指標について

PRIDE 指標は、LGBTQ+が働きやすい職場づくりを日本で実現するために wwP が2016年に策定した日本で初めてとなる、LGBTQ+に関する企業・団体等の取り組みの評価指標です。

Policy（行動宣言）、Representation（当事者コミュニティー）、Inspiration（啓発活動）、Development（人事制度・プログラム）、Engagement/Empowerment（社会貢献・渉外活動）の5つの指標で構成されており、各指標内で指定の要件を満たしていれば点数が付与され、点数により、ゴールド、シルバー、ブロンズとして企業・団体が認定されます。

リクルートは、「PRIDE 指標 2022」において、最高評価のゴールドを5年連続で取得しました。

work with Pride



### work with Pride について

work with Pride (wwP) は、企業などの団体におけるLGBTQ+（レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダーなどの性的マイノリティ）に関するダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する任意団体です。<https://workwithpride.jp/>

### ■ リクルートの取り組み

リクルートは1960年の創業以来、「個の尊重」を重要な価値観と位置づけ、多様な従業員一人ひとりの違いを大切にしてきました。リクルートにとって、ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン(以下、DEI)の推進は経営理念の実現そのものです。2006年に専任組織を設置し、育児、働き方、介護、セクシュアル・マイノリティなどさまざまなテーマに取り組んできました。2021年には「2030年度までに、リクルートグループ全体における取締役会構成員・上級管理職・管理職・従業員それぞれの女性比率約50%をめざす」というコミットメントを公表し、ジェンダー平等を端緒としてDEI実現に向けた取り組みを加速しています。

セクシュアル・マイノリティへの理解促進と働きやすい環境づくりにおいては、2017年4月、国内グループ会社9社(現在は株式会社リクルートに統合)において慶弔休暇、休職(介護・育児)などの制度の同性パ

2022年 11月 10日

ートナーへの適用を開始。2019年には、従業員を対象としたコミュニケーションガイドの作成、相談窓口の開設、eラーニングのコンテンツ拡充を行いました。2022年度には、リクルートおよび国内グループ会社に向けて約2.4万人にeラーニングを配信しました。リクルートの対象者では、受講率約80%、受講後理解度約100%となっています。これらの活動を通じて、従業員の意識は年々向上しています。今後も「個人の尊重」に基づき、セクシュアル・マイノリティをはじめ、全ての従業員が働きやすい環境づくりに取り組みます。

本件に関する  
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

## リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>